

このページの一番下にレジユメのサンプル (PDFファイル) があります。  
全学開講科目、2009年度新規開講

## 授業のねらいと概要

- ・さまざまな商品を通して、世界の政治や社会についての想像力を養う。
- ・われわれが当たり前だと思っている現在の政治体制や社会組織が成立した歴史的な経緯を、コーヒーや砂糖、エビなどの商品、それに商品化された恋愛や宗教などから学ぶ。

## 学修目標

- ・身近な商品や自分自身の考え方が当たり前前にそこにあるのではなく、歴史的社会的に形成されてきたということ認識すること。
- ・グローバル化する世界の構造を大掴みに理解し、身近な生活を見直す。
- ・世界の政治体制や社会組織、文化や宗教についての基礎的な知識を身につけること。

## 授業の計画

- ・われわれが生きている世界とは
- ・商品と世界の政治・社会 - 以下の商品を順次取り上げる

コーヒー、紅茶、砂糖、じゃがいも、米、エビ、肉  
サッカーとラグビー、母の日、恋愛、イスラーム、Tシャツ

## テキスト教材等

参考書：川北稔『砂糖の世界史』（岩波ジュニア新書、1996年）、村井吉敬『エビと日本人』（岩波新書、2007年）、西谷修編『グローバル化と奈落の夢』（せりか書房、2006年）。

ビデオ教材：『人間は何を食べてきたのか』（ジブリ学術ライブラリー、2003年）、フーベルト・ザウバー『ダーウィンの悪夢』（フランス、2004年）、ニコラウス・ゲイハルター『いのちの食べ方』（オーストリア、ドイツ2008年）。

その他適宜指示する。

授業の形式

資料を配付し、講義をする。適宜映像資料を使用する。

## テスト・レポート

### 2010年度

以下のなかから2問選択して答えよ。答案用紙に選択した問題番号を明記すること。なお、3問以上選択した場合は採点しない。

1. 砂糖・コーヒー・紅茶のどれか一つについて、世界化のプロセスと現代における流通の特徴を示し、選択しなかった他の商品と比較せよ。
2. あなたがもし何らかのフェアトレード商品を扱う立場にあると仮定して、何をどのような戦略で誰に売り込むのか、企画書を書きなさい。あなたがどのような立場（生産者、NGO、流通業者など）であるか必ず明記した上で、記述すること。
3. 日本と外国との間で大衆文化が越境し、その過程で変化を遂げていった具体的な事例について説明せよ。
4. 20年後の日本社会がどうあるべきか、日本や他国（シンガポール、フィリピン、アメリカなど）における外国人労働者 / 移民の受け入れ / 送り出しの経験を踏まえて論じなさい。

### 2009年度

1. フェアトレードとは何か、その仕組みについて簡単に説明し、その現状と問題点、課題について分析しなさい。フェアトレードを行っている当事者（生産者・消費者・業者や団体など）の立場について考えてみる。

以下のなかから1問選択して答えよ。答案用紙に選択した問題番号を明記すること。

2. 砂糖・コーヒー・紅茶のうち、一つを選び、その起源と世界的な拡大のプロセスについて説明しなさい。
3. 日本のカレーの特徴について、その初期の時代背景を踏まえて説明しなさい。
4. 別紙は2010年のセンター試験（現代社会）の問題である。問題文および問5を読み、外国人労働者の受け入れの是非について意見を述べなさい。なお、意見の内容が教員（見市）と同じかどうかは点数に反映されない。あくまで、現状の理解と分析、意見の論理性を採点基準とする。